

# 泌尿器科

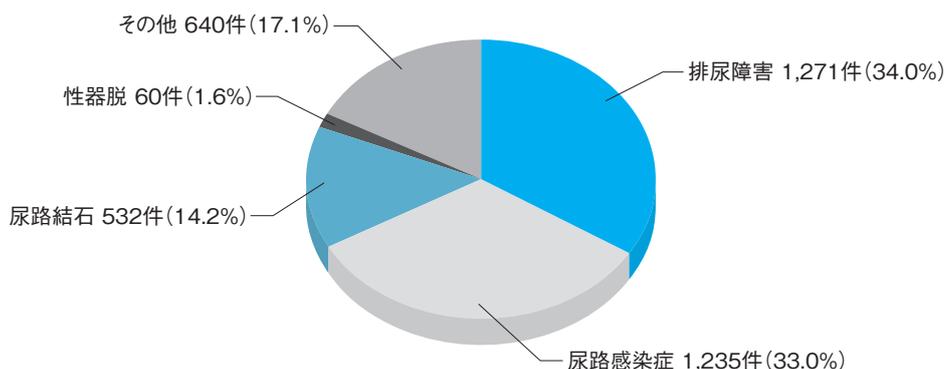
## 1. 概要

2014年度は長井、田中両部長、荒木副部長、寺島医長、石塚、内藤医師の6人体制で始まったが、がん専門医としての栃木県立がんセンター、国立がんセンター中央病院で1年間のトレーニングを終えた山本医師が7月から帰院したことにより、質、量ともにこれまでで最も充実した泌尿器科医療の体制を築くことができた。とは言え、東三河地区における当院への一極集中の傾向は年々強くなり、繁忙の程度は増すばかりである。当科の柱である泌尿器悪性腫瘍に対する小切開手術は全国のトップクラスを維持し、さらなる発展が期待されている。また、da Vinci Siによるロボット支援前立腺全摘術が軌道に乗ったことにより、ロボット手術目的の紹介患者が当初の予想を大きく上回るほどに増加した。さらに、女性骨盤外科領域の手術件数は増加の一途をたどり、尿路結石治療においても、fTUL手術も順調に症例を重ねており、ここ数年の様々な試みが実を結び始めていると感じている。

(第一部長 長井 辰哉)

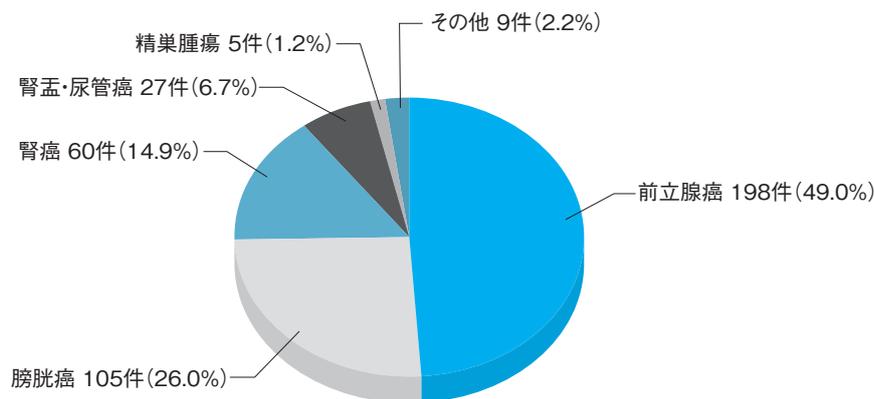
### ●疾患別頻度（悪性新生物を除く）

総件数：3,738件



### ●疾患別頻度（悪性新生物のみ）

総件数：404件



## 学会発表（医局）

### <泌尿器科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	腎瘻造設後の血尿悪化を契機に発見された腎動静脈瘻の1例	筆頭演者	内藤 祐志	第264回日本泌尿器科学会東海地方会	2014/6/7
2	シンポジウム11 ミニマム創手術の現況と未来 ミニマム創内視鏡下手術の現状と未来(ロボット支援手術との比較からみえてくるもの)	筆頭演者	長井 辰哉	第79回日本泌尿器科学会東部総会	2014/10/14
3	当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術(RALP)の初期経験	筆頭演者	田中 篤史	第64回日本泌尿器科学会中部総会	2014/10/18
4	ミニマム創内視鏡下前立腺全摘術(ロボット支援手術との比較から)	筆頭演者	長井 辰哉	第7回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会	2014/12/20
5	臍創から行う腎部分切除術(導入のために必要なこと)	筆頭演者	長井 辰哉	第7回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会	2014/12/21

## 講演 (医局)

### <泌尿器科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	豊橋市民病院における前立腺癌に対するロボット支援手術の現状	長井 辰哉	東三河泌尿器科医会 (PSAフォローアップパス講演会)	2014/7/9
2	過活動膀胱の薬物療法の現状	長井 辰哉	愛知県病院薬剤師会病院東三河支部学術講演会	2014/9/18
3	ロボット支援手術時代のミニマム創内視鏡下手術	長井 辰哉	富山県泌尿器科木曜会	2014/12/18

論文・著書 (医局)

<泌尿器科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	出血の少ない前立腺全摘術-背静脈群個別血管処理法による出血コントロール	筆頭著者	長井 辰哉	日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 6(1)1,15-20,2014
2	臍創から行う腎部分切除術	筆頭著者	長井 辰哉	日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 6(1)1,65-70,2014